

# 平成26年度 笠松力検定 上級 問題用紙 制限時間90分

## 注意事項

- (ア) 検定問題は全21問です。  
1問から20問が記述式で、21問は論述式です。  
解答用紙の記入にあたっては、1問から20問は問題で指示した語句を記入してください。なお、特に指示のない設問は、ひらがなの記述も可とします。21問は指示した文字数で記入してください。
- (イ) 誤って記入した場合は、消しゴムで跡が残らないように消してください。
- (ウ) 受検中は、監督者の指示が出るまで検定会場を退出しないでください。
- (エ) 受検中は、携帯電話等を使用することはできません。
- (オ) 受検中は、問題の内容についての質問は一切受け付けません。

## 笠松力検定委員会

問題 1 から 20 までを読み、各設問の指示に従い解答用紙に正しいと思われる解答を記入してください。

1. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

笠松町は、昔から木曾川の洪水に苦しんだ地域でした。しかし、昭和の時代になり、木曾川から農業用水を取り入れるため、各務原市に取水口を作り、笠松町を通る用水路が完成しました。この用水路は、「土地改良区」が維持管理をしています。

2. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

明治8年(1875)に北船原村と南船原村、町屋村が合併し、村となりました。

3. 次の文章を読み、に入る人名を漢字で書きなさい。

国の登録有形文化財に登録されている「杉山邸」の土蔵では、戦前の岐阜商業学校(現在の県立岐阜商業高等学校)野球部で活躍し、戦後は同校監督として「岐商野球の礎」を築いたの常設展示場があります。

4. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

美濃郡代笠松陣屋には、幕府直轄領からの年貢の徴収などの政治や、裁判を行った「地方役所」と、川の治水土木工事の指揮・監督にあたった「役所」がありました。

5. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

儒学者で漢詩文研究に優れ、医師だった伊藤冠峰の著書には、「自放編」「冠峰文集」「園詩集」があります。

6. 次の文章を読み、に入る語句を書きなさい。

笠松は、度重なる木曾川の洪水により大変苦しみました。米野の堤外には別名「亀姫猿尾」とも呼ばれる「猿尾」の一部が残っています。

7. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

天文 13 年(1544)、義父の斎藤道三の策略によって、娘婿の土岐頼香を殺害した戦いは「の戦い」です。

8. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

松枝輪中の農民の苦しみを救おうと築堤を黙認した、北方代官 酒井七左衛門の墓は門間の寺にまつられています。

9. 次の文章を読み、に入る数字を書きなさい。

木曾川では冬から初春にかけて筏流しが盛んに行われていました。伊勢神宮の式年遷宮ご造営の御神木流しは、昭和年が最後となりました。

10. 次の文章を読み、に入る人名を漢字で書きなさい。

広瀬春樵に書画を学び、山本梅逸に入門し画風を磨き、山水を得意とした画家の雅号はです。

11. 次の文章を読み、に入る語句を書きなさい。

明治の初めごろまで、米野の日枝神社や江川の津島神社などでは、神を招きお告げを聞くために神事が行われていました。近年、米野町内会が復活させ、笠松春まつりにあわせて神事を行っています。

12. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

江戸時代から伝わる「円城寺の芭蕉踊」は、毎年 8 月 22 日に円城寺の神社の前で披露されます。

13. 次の文章を読み、に入る語句を漢字 5 文字で書きなさい。

もともとは、笠松陣屋の脇にまつられていた奈良津堤のは、縁結びの神様として信仰されています。その境内には「へそ塚」もあります。

14. 次の文章を読み、に入る語句を書きなさい。

永禄 5 年(1562)に創業した和菓子屋「太田屋半右衛門」が代々作り続けてきた和菓子「笠松」は、現在笠松菓子組合が継承しています。

15. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

笠松では織物工場が増加し、明治 14 年(1881)に織物製造業者の組織「美濃縞会社」が設立されました。現在の名称は「協同組合」です。

16. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

笠松町をはじめ、岐阜市・各務原市・岐南町の15の「団」の事務を共同処理する事務組合の事務所は、笠松町新町にあります。

17. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

笠松町では、平成22年(2010)から新築住宅を購入した方に「定住促進助成金」、新たに事業所の設置や設備投資した法人・個人に「振興支援助成金」を交付しています。

18. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

明治6年(1873)に、北及村に義校、田代村に博習義校を創設しました。それは現在の松枝小学校の前身です。

19. 次の文章を読み、に入る馬名をカタカナで書きなさい。

は、平成21年(2009)の「全日本2歳優駿」で優勝し、2歳馬として史上初の「NAR グランプリ年度代表馬」となりました。

20. 次の文章を読み、に入る数字を書きなさい。

笠松町マスコットキャラクターの「かさまるくん」と「かさまるちゃん」の双子の兄妹は、平成年に誕生しました。

問題 21 は、800 字以内で記述してください。

21. 笠松町では、笠松人の心を育み、誇れるまちとなることを目指して取り組んでいます。

どのような取り組みをしているかを述べ、さらに、笠松町の心豊かな人づくりを実現させるにはどうすればよいか、あなたの考えを述べなさい。